

越谷 HAPPY HEART 会報

SINCE 1990



第 67 号 2024 年 9 月 15 日

越谷スクエアダンスクラブ

(越谷ハッピーハート)

〒343-0838

越谷市蒲生 3-15-4

会長 向山 倍生

Tel 090-8117-5453

mon@hh.ij4u.or.jp

会長挨拶

会長 向山倍生

4月14日(日)の会員総会で会長に選ばれ5カ月が過ぎようとしています。辻田相談役・青柳前副会長の助言を得ながら職務を遂行させて頂いています。また会員の皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

4月以降では、第10回ハッピーハートグループ合同パーティー、初めてのハッピーハートグループ合同研修会、県連主催による第1回Tea Capパーティーと大きな行事が続きました。ハッピーハートグループ合同パーティーは越谷が担当クラブとして準備を進め、第10回大会という事もあり盛況のうち大成功に終わりました。また私は関東甲信越統括支部幹事会、S協の定時社員総会に出席して、全く新しい経験をさせて頂きました。今年度はS協の会長が「勝亦隆夫氏」、埼玉県連の会長が「小泉明氏」に交代し激動の年になりました。



当クラブで4月から始まった第33期生の初心者講習会も順調に進み、6月2日(日)のビギナー歓迎会、6月27日(木)には卒業式が開催され 福地ヒデ子さん、上田恵子さん、平塚淳子さん、福田明美さんの4名が卒業されました。会員の皆さんは、これからも 押したり 引いたり する事なく優しく接してあげてください。

8月18日(日)は越谷スクエアダンスクラブの第34回アニバーサリーが開催されました。お客様330名、来賓・ご招待者29名、会員67名と合わせて426名の参加となりました。4年ぶりの開催で少し戸惑いもありましたが、これまでの経験を活かし、全員参加で準備し大成功だったと思います。各部の部長・副部長さん、会員の皆さんありがとうございました。アニバーサリーの詳細は会報68号でお知らせします。9月7日(土)には埼玉県連主催の埼玉ジャンボリーが開催されます。多くの会員の参加をお願いします。

67号の主な内容

1. 会長挨拶
2. 関口正夫元会長に感謝状
3. 新任役員の紹介
4. 行事
 - ・ 無料体験教室&初心者講習会開催
 - ・ 出前教室「デューサービス寿々喜」開催報告
5. 講座参加報告
6. パーティー参加報告
7. 第9回連載コラム(第3話)
8. 編集後記
9. 裏表紙 2025年無料体験会へのお誘い

2. 関口元会長への感謝状(4/01)

前会長 青柳 進

関口元会長の退任にあたり会員一同の気持ちを込めて感謝状を贈りました。また、7月の役員会で関口ご夫妻が名誉会員として満場一致で推挙されました。

本文

関口正夫 殿

あなたは二十年間にわたり
越谷スクエアダンスクラブ会長として
会の円滑な運営と発展のために
多大な貢献をされました。
よってその功績をたたえ
感謝の意を表します。

越谷スクエアダンスクラブ会員一同

令和6年4月14日



3. 新任役員を紹介（前年度から継続の監査役・広報部長は除く）

3-1. 副会長に就任して

23期生 清水 英雄

令和6年4月の会員総会で、私は副会長に選任されました。

会長だけでなく副会長も「会員の重鎮」が就くものだと考えていたので、「平凡な会員」である私が選ばれたことは実に意外でした。会長および副会長の三人がすべて「初めての就任」です。今年度(令和6年度)は、4月の会員総会で承認された予定の通りにクラブの活動ができるよう努めます。コロナ禍が起こったので、令和2年2月の途中からクラブの例会が開けなくなりました。例会が再開されても、コロナ禍のために、中止になったことがありました。その間に、クラブの会員数が大きく減りました。コロナ禍が弱まった令和5年度は、当初の予定通りにクラブの活動が行われました。令和6年度以降もコロナ禍は続くでしょう。正副会長の三人で協力をし合い、会員の皆様の支えを受けながら、クラブでの役割を果たしたい、と考えております。



3-2. 副会長就任にあたって

18期生 村山友子

越谷SDCに入って18年、丁度中間派になりました。まさかの副会長就任でした。やっとパーティーも開かれるようになり楽しもうと思っていたので、何をどうして良いのか分からない状態から始まりました。県連理事会、県連行事など今までは参加のみしていたのですが、踊るだけではなく、先に行って準備など役員分担、県連の行事をみんなに紹介し参加して貰えるようミーティングで紹介して行こうと思います。木曜日、土曜日とも例会は楽しく笑顔で「例会に出て良かった。」踊って「スクエアダンスは楽しい」と言えるようなクラブにしたいと思います。これからは若い人も入ってもらえるよう考えていきたいと思います。何も分からずの副会長ですが皆さんの声を聞きながら2年



間やっていきます。 よろしくお願ひします。

3-3. 庶務部長に就任して

21期生 榎本 初枝

今頃になって反省しても遅いのですが、庶務部長は大変な仕事だと思ひました。クラブ行事には運営する側として責任が有りますので、慎重にしなければと思ひます。私のように大雑把な人間では務まらない仕事だと痛感してあります。とはいえ引き受けた以上、皆さんの助けを借りながら頑張ります。今までの役員の方のご苦勞が身にしみます。これから2年間努力して行きますので、宜しくお願ひします。



3-4. コスチューム部長に就任して

22期生 平塚 緑

女性6人のコスチューム部です。顔合わせをしました。皆さん快く(心良く)協力を申し出てくれました。大変心強い仲間です。前部長の川上さんからコスチューム部の書類とコスチューム等の在庫を預かってきました。意外と膨大な量で驚きました。33期生は女性4人が入会しました。在庫のコスチュームを合わせていただきました。ピッタリとはいきませんが、皆さんに自分に合ったコスチュームを着ていただくことができました。本当に良かったです。



さて、今年は第34回アニバーサリーがあります。6人で力を合わせてコスチューム部の役割を務める事が出来れば良いなと願っています。

3-5. 財務部長に就任して

28期生 宮地 美和子

スクエアダンスを始めて6年、先輩の方々には長年役員をされた方も多く、その中で財務部長になったことは責任重大です。今年「創立34回アニバーサリー」を迎え、会員の皆様の会費とたゆまぬ努力・協力が大きな団体を支え活動を長く維持して行けたと思ひます。



部長となり、大きな組織の中で、会員の方々と携わる機会が多くなりましたが、ダンスを楽しむことを忘れず、親睦を深めながら務めさせて頂きますので、2年間よろしくお願ひします。

3-6. 渉外部長に就任して

28期生 一色 由紀江

今年度から渉外部長を拝命いたしました。入会してからずっと渉外部員ではありましたが、先輩方の指示のまま動いていたので、全体が良く分かっていませんでした。一方、会場予約についてはシステムを理解してスムーズに行えるようになりました。今回、アニバーサリーの会場設営の責任者になって過去の記憶と記録をたどっても、入会したての時期に参加させて頂いた事しかなく、イメージが湧きませんでした。先輩方に分からないことを教えて頂き、4月に副部長としてお手伝いさせて頂いた合同パーティーを参考にして、不備がないように考えました。



至らない所が多々あると思ひますが、アニバーサリーが滞りなく開催できますように努力致します。宜しくお願ひ致します。

3-7. 音響機材部長に就任して

29期生 黒沢 雅之

この度、機材部長に就任致しました黒沢と申します。機材部の仕事は機材の搬入搬出です。えっ、それだけ？と思われるかもしれませんが。しかし例会でもパーティーでも機材が届かなければ、ダンスを始めることが出来ません。そのようなアクシデントが起きないように、機材部一同連携を図りながら確実に機材を搬入できるよう日頃から心がけています。

今後とも皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。



3-8. スナック部長に就任して

22期生 遠山 えり

年数と年齢を経て最後の一期を乗り越えれば、役員御免という時期にスナック部長に就任しました。渉外部も経験しましたが年齢と共に身体も頭も動きが鈍くなり大変さを痛感することもあります。越谷スクエアダンスクラブも平均年齢が高くなり？行事をひとつするのも大変な時期に差し掛かっているようにも思います。渉外部の時と同じように自分に出来ることをしていくつもりです。例会時のスナック配膳、財務とのやり取り等不安は尽きません。スナックの用意なんて同期で協力した日光大江戸温泉での合宿以来です。今年はアニバーサリーもあり、考えれば考えるほど不安もありますが、ひとつひとつ、スナックの皆様と協力し合っていくことが一番と思っています。これから先、会員皆様のご協力を頂かなければできないこともあります。どうぞ宜しくお願い致します。



3-9. プログラム部長に就任して

12期生 福永 守

前年度の副部長から、引き続いて部長を仰せつかりました。責任は大きいですが、過去2年間の経験を顧みて、これからの2年を無事務めたいと思います。正直不安ばかりが募りますが、少しでもクラブのお役に立てればと前向きに考えたいと思います。スクエアダンスは個人が技術を習得する努力と、ダンサーがお互いを尊重し協力することによって成り立ちますが、プログラム部も部員一人の頑張りでは限界がありますので、風通しを良くしてチームワーク良く進めたいと思います。幸いプログラム部はベテランの先輩方が多いので、適切なアドバイス等を頂ければ幸甚です。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

最後に、この場をお借りして6月に実施されました「今後の例会活動のあり方についてのアンケートについて」ご協力をいただきまして深く感謝申し上げます。



4. 行 事

4-1. 無料体験教室&初心者講習会開催



3月14日(木)から6月27日(木)に中央市民会館(一部北部市民会館利用)を中心に開催しました。無料体験教室には11名の方が参加しました。続いて、初心者講習会に進んだ4名の方が6月に無事卒業されて、越谷スクエアダンスクラブの一員になりました。

4-2. 33期生 初心者歓迎会

1) 新人歓迎会に参加して

33期生 上田 恵子

6月2日(日)の新人歓迎バーベキューパーティーは皆様のお陰で心から楽しむことができました。孫たちを気遣いながらの時と違い、あの日はVIP待遇の心地がいたしました。

炭火の煙の中でご馳走を焼き続けて下さった方、終始ダジャレで笑わせて下さる方、皆さんに甘え、更に酔いに任せ、いつの間にか私は座を無礼講状態にしてしまいました。(冷や汗…) 楽しいあっという間の2時間の歓談でした。その中で、辻田さんがお一人での会の立ち上げから34年以上に渡り、愛を持ってこの会を育て上げ、幾歳月を乗り越えていらしたことが伝わってまいりました。

まさにハッピーハートな思い出に残る非日常を有難うございました。

来年は裏方をいたします。(笑)



2) 新人歓迎会に参加して

33期生 福地 ヒデ子

新人歓迎会って、少しはずかしいなと思って参加させていただきましたが、先輩方の気さくで前から知り合ってた感じにさせていただき楽しく過ごす事が出来ました。バーベキューでは私達の為に一生懸命に焼いていただき、とても美味しく、そして幸せな時間でした。お天気も心配でしたが、終わった途端に雨が降り出し、やっぱり皆さまの明るさでふきとばしたのかなと不思議な感じでした。本当にお世話になり、ありがとうございました。そして、これからも、よろしくお願い致します。



3) 新人歓迎会に参加して

33期生 福田 明美

雨が降らずに良かったと空を見ながら会場について、すぐにバーベキューが始まり、お肉や野菜、焼き芋まで作っていただき生ビールで乾杯! ビギナーさんは何もしなくていいのよ、のお言葉に甘えて和やかな雰囲気の中でただひたすら食べて飲んでの1日でした。帰りは駅までの途中でひどい雨にあいましたが、とても楽しい時間を過ごせました。準備をしてくださった幹事の皆様ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。



4) 新人歓迎会に参加して

33期生 平塚 淳子

6月2日(日)は、天気予報に反してよいお天気で、日差しがとても強く感じられ、日陰を探したほどでした。(帰りには、傘の出番もありましたが。) 清水公園の木々の中を歩くうち、炭火のよい香りがしてきたと思うと、そこが会場でした。すでに皆さんお集まりで、暖かく迎え入れて下さいました。美味しいバーベキューをいただきながら、スクエアダンスの発祥や日本に入ってきた様子など様々なお話を伺い、楽しく過ごさせていただきました。皆さんスクエアダンスを通して、よいお仲間として楽しまれている様子が感じられました。



私たち新人4人のために、このような場を設けていただき、ありがとうございました。

4-3. 33期生 初心者講習会

1) 初心者講習会を卒業して

33期生 上田恵子

私は30年前に関口さんのお誘いで1回だけ参加したことがありました。とても楽しく印象に残りました。その時のコーラーが辻田さんだったことを覚えています。最近になってふとスクエアダンスの事を思い出し、今年入会できたのは有難いご縁と感謝いたします。踊りって一体何だろう？ 人は何の為に踊るんだろう？ と考えたことがありました。沖縄では、「悩んだら踊れ」と言います。この今、踊っていただける幸せ感じます。世界中の人々が手を取り合って踊れるような平和な世であってほしい。“夢は国際親善”な一んていう大ボラを吹いてみたいです。(笑)

皆様方には毎回1時間早くご参集頂き、親身なご指導を下さり、誠に有難うございました。

2) 初心者講習会を卒業して

33期生 福地 ヒデ子

市の広報を見て、参加してみようかなと簡単に考えていましたが、いざ講習を受けてみて私みたいなのが覚えられるのかと、不安でいっぱいでした。反面踊る楽しさと皆さまのやさしさ、気持ちの広さに助けられて13回の講習が終了できました。ありがとうございました。これからがまだまだ不安だらけですが、楽しむ事が大事だと言われると、頑張っていきたいなと思います。先輩方に迷惑をかけると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

3) 初心者講習会を卒業して

33期生 福田 明美

スクエアダンスのことは何も知らないままに体験会に参加させていただきました。楽しそうに踊る先輩方の笑顔を見て、自分にもできるだろうかと思いながら、初心者講習会13回が終了し、卒業式も盛大にさせていただき感動です。これからも覚えることが沢山あり不安がつきまといいますが、先輩方のご指導のもと、楽しく続けられたらと思っています。よろしくお祈りします。

4) 初心者講習会を卒業して

33期生 平塚 淳子

講習会では初めてのことばかりで、正直、場違いの所に来てしまったのではと思いました。使われる言葉も横文字で、どう動いたらよいのか、分からないことばかりでした。しかし、その都度、皆様が優しく教えてくださり、そのリードで練習を重ねることができました。そのうち、初心者のために時間を作ってくださっているということだけでなく、その先の準備のために、いろいろと心配りをしてくださっていることに気づき始めました。そして、向かえた卒業式では、いかに皆様が

私たち初心者のために心をくだき、迎える準備をしてきてくださったのかということに、改めて気づかされました。初心者講習会の卒業までの3ヶ月で、新しい世界に入る入り口に立たせていただけたのだと、皆様に感謝いたしております。これからは、皆様の楽しいお仲間の一員となれますよう、少しずつでも前に進んでいけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

4-4. 出前教室「デーサービス寿々喜」での開催報告

相談役 辻田 満

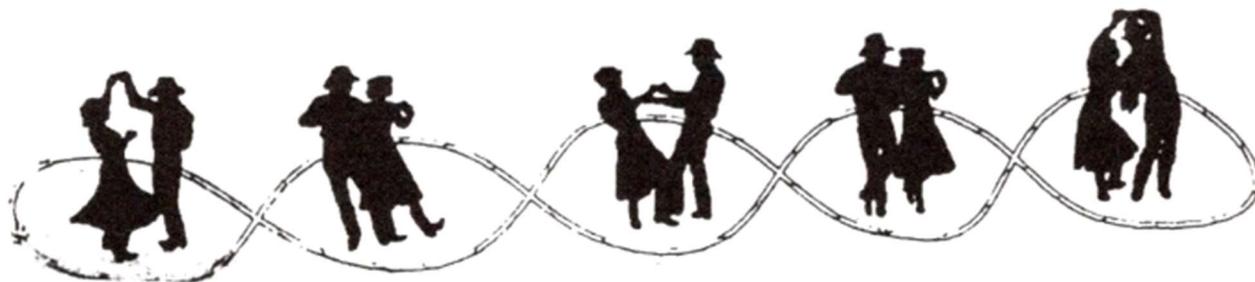
当クラブには出前教室制度があります。すでに小学校には数校出前教室を実施しております。出前教室はスクエアダンスをまず知って頂くことが最大の狙いです。詳しい制度は越谷 SDC のホームページに掲載されておりますので一度ご覧ください。

今回は吉川市にあるデーサービス寿々喜の6月10日(月)に開催されました設立16周年記念のお楽しみ会での30分の出演依頼でした。当日のモデルセットは吉川市および近隣在住の方々を中心にセットし、コーラーは辻田が務めました。

当日の主たる観客はデーサービス利用者の皆さんですが、デモンストレーションの合間には施設の若い職員さん達が体験者としてセットに入り、スクエアダンスをとっても楽しそうに踊っていたのが印象的でした。少なくとも今回の出前教室によって施設の利用者や職員の方々の40名近い方々にスク



エアダンスを知って頂いたことが成果だと思っています。出前教室による広報範囲は限られておりますが、こうした地道な広報活動がスクエアダンスの普及活動につながるものと期待しております。なお、当日は黒沢さんの娘さんがカメラマンとして参加して頂きナイスショットを撮って頂きました、ありがとうございました。



5. 講座参加報告

5-1. 辻田コーラースクールに参加して

監査役 佐久間 寛明

私たちコーラー初心者には、コールとは何かと言う事を知らしめるべくして、私たちの要望により、本年2月より辻田スクールが開校しました。全四回のコースで組み立てられていて月一回4カ月の辻田スクールの開校となりました。まず始めはスクエアダンスの組み立ての仕組みを習いました。コーラーもダンサーも知っておかなければならないことです。FASRと言うローマ字四個で表すことができます。簡単に言えばフォーメーション・アレンジメント・シークエンス・リレイションシップとなります。この四文字さえ理解出来れば組み立ての仕組みは全て分かると言っても過言ではありません。先ずは座学から始まり実際に協力ダンサーにセットを作って頂き踊って頂きました。講師が手本を見せ私たちも実践していきました。これを繰り返すことにより段々、上手くなっていくそうです。その時間には個人差はあるようですが。それを繰り返した四ヵ月後に辻田スクールの元生徒である川崎 HH の六笠さんを特別講師に迎え最後の仕上げをして頂きました。どう言うところに苦勞があったのか勉強方法などを伺いました。これもとても参考になりました。私たちは毎週例会で1チップづつコールをさせて頂いておりますが、更に頑張る所存ですので皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後に毎回、お手伝い頂いた協力ダンサーの皆さまには大変感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



5-2. ハッピーハートグループ研修報告

相談役 辻田 満

6月30日(日)午後に国立オリンピック記念青少年総合センターにて初めてのグループ研修会が開催されました。今回の研修の狙いはコロナ禍で激減した会員を今後増やしていくにはどうすべきかをテーマに研修を行いました。グループからは総勢35名の参加があり越谷SDCからは9名(向山(倍生)・清水・村山(友)・小堀・吉田(建)・佐久間・福永・黒沢・辻田)が参加しました。前半は全国SD講習会のスペシャルコースに参加して来た向山氏と日野SDCの根本(健)の両名から講習会で学んできた知見の報告があり後半は参加者が5つのグループに分かれて「どうすれば力を合わせて新人を確保できるのか」テーマにブレインストーミングを実施しました。今回の研修結果を各クラブに持ち帰り今後の体験教室および初心者講習会に反映させていきたいと思っております。



ブレインストーミング模造紙



グループワークの風景



参加者集合写真

6. パーティー参加報告

6-1. 埼玉 DoSaDo パーティーに参加して

32期生 細渕 和良

何年ぶりか、思ってもいなかったパーティー参加です。会場に着くまで踊れるかな、先ず体力が着いて行けるか不安でした。マイペースで何とか皆さんに着いて行ければ良しとしよう。諸先輩のアドバイス、コーラーさんの元気な声、楽しいミュージックに励まされながら踊れたかと感じています。踊りの感覚をもっと取り戻せたら楽しさを味わえることです。続けられたこと、いつまでも、どこまでも、何事もやる気が大切と思います。ありがとうございました。



6-2. 埼玉 DoSaDo パーティーに参加して

32期生 三澤 恵

あの様な広い会場で、また会員の方も多く、踊れるかどうか、とても不安な気持ちでしたが、先輩方に、きめ細かく配慮して頂き、楽しく踊る事が出来、先輩方に感謝・感謝です。楽しい一日を過ごさせて頂き、ありがとうございました。

これからもよろしくお願い致します。



6-3. 第10回ハッピーハートグループパーティー

相談役 辻田 満

4月29日(月・祝)に第10回合同パーティーがアコスホールにて盛会裏に開催されました。当クラブは幹事クラブとしてのお役目を会員の皆様のご協力で果たすことが出来ましたことを御礼申し上げます。4年ぶりのコロナ明けの開催でしたが総勢156名もの参加で越谷SDCからは64名(会員の85%)の参加でした。前半はスクエアダンスパーティーで後半が懇親会です。懇親会ではクラブ毎に趣向を凝らしたアトラクションが披露され、大変に盛り上がりました。



懇親会：多摩ハッピーハート会長挨拶の後 主催者側越谷ハッピーハート会長の音頭で乾杯



第10回合同パーティー参加者からのメッセージ

●多摩ハッピーハート(中村禮子会長メッセージ)

第10回ハッピーハート合同パーティー、4年ぶりに開催され、皆様と一同にお会いできましたこと、大変うれしい思いです。今回は越谷主管ということで、辻田さんには、この14年間の歴史をまとめていただき、第10回の節目にふさわしいパーティーになりましたこと、感謝申し上げます。



さて、この4年間、スクエアダンス界も大変なダメージを受けました。私たちの合同グループでも、多摩の羽鳥さん、市村さん、春日部の滝さん、日野の奥村さんの奥様とのお別れがありました。

また越谷の関口さんも今、病と闘っております。お仲間とお別れは辛いものがありますが、人間はいつか、その時を迎えなくてはなりません。一日、一日を大事に生きていくことが大事だとしみじみと感じております。人生を豊かにさせてくれるのは、何といたっても人との触れ合いです。その意味で、クラブでの私たちの活動はかけがえのないものと確信しています。どのクラブでも高齢化が進んでいて、一人抜け、二人抜けという状況ではないでしょうか。このことをしっかりと受け止めて、私たちは活動していかなければならない時代になっています。今こそ、新しいお仲間を増やしていくことが求められています。このノウハウを、私たちの合同グループでも、一緒に知恵を出しながら、頑張っ取り組んでいきましょう。

そしてこれからも前向きに、スクエアダンスを末永く楽しんでいきましょう。

越谷の皆様、ご準備有難うございました。日野の皆様、次回はよろしくお願ひします。

●静岡ハッピーハート（篠ヶ谷紀子会長メッセージ）

事前の準備から何から何まで本当にお世話になりありがとうございました。久しぶりで楽しい合同パーティーでした。また帰りにはよく冷えたビールやお菓子の詰め合わせなど、バスまでお持ちいただき恐縮しております。お心遣い本当にありがとうございます。合同パーティーはやっぱりいいですね。特に静岡は支部が違う事もあり、普段なかなかお会いできない方が多いので、このような機会があるのは本当に嬉しいです。数ヶ月前から準備にもお力を注いでいただき、ありがとうございました。おかげさまでとても楽しい1日でした。今度は越谷のアニバーサリーを楽しみにしております。越谷の皆様にもどうぞよろしくお伝え下さいませ。本当にありがとうございました。



●春日部ハッピーハート（平林佳代子会長メッセージ）

第10回ハッピーハーツグループ合同パーティーではお世話になりました。越谷SDCの皆様のおかげで楽しい1日を過ごすことができました。当日けがをして不参加になった会員もいて参加人数が減ってしまいました。来年はアコスで15周年記念アニバーサリーを開催する予定ですので参考になりました。ありがとうございました。



●日野ハッピーハート（奥村稔明会長メッセージ）

大変お世話になりました。第10回ハッピーハートグループ合同パーティーは大変素晴らしいものでした。コロナで各クラブが会員減少に苦しむ中150名以上のダンサーが集える私たちのイベントは誠に誇らしいものです。恒例の各クラブの趣向を凝らした余興タイムは欠かせないものとなりました。このハッピーハートグループの絆の温かさと信頼感を改めて味わえた事は正に第10回の記念すべきハッピーハートグループ合同パーティーとなりました。準備に当たられた越谷ハッピーハートの皆さまのホスピタリティーにも心より感謝申し上げます。来年は日野ハッピーハートが幹事を担当させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



●川崎ハッピーハート（六笠悦宏会長メッセージ）

お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。全ておんぶに抱っこでした。いつもながらの統制の取れた進行にはスタッフの優秀さもあり、只々感心させられるばかりでした。参加している全員が楽しい時間を過ごせるプログラムが色々用意されていました。ダンスプログラムはもちろん、アトラクションも参加して、また見て楽しかったです。企画立案が素晴らしいです。さあ、川崎ハッピーハートの幹事が大変です。



懇親会の最後には恒例の各クラブの余興が披露：スタートは日野ハッピーハート



川崎ハッピーハートからは、クイズが出された。

最初に、スクエアダンス10則を問われ、越谷ハッピーハートの武井朝恵さんが、常に携帯しておられると思われるメモを読み上げ拍手喝采をえた。次に、スクエアダンスの「スルー」と名の付く動作を8事例求められ、越谷ハッピーハートの佐久間寛明さんと青柳進さんが挑戦し、商品を獲得した。



春日部ハッピーハート：大きな株の物語の演劇披露





多摩ハッピーハートは、ジャンボリーミッキーダンスと南京玉すだれの余興を披露

南京玉すだれによる六つの橋（ハッピーハートの橋）を架ける演技が披露された。



静岡ハッピーハートはクイズとキツネダンスが披露された。

オリンピックのヒストグラムのパントマイム演技クイズとキツネダンスの披露でした。



越谷 SDC のお揃いのピンクのポロシャツで踊ったカントリーダンスはとても華やかでよかったです。来年の幹事クラブは日野 SDC で 2025 年 5 月の開催に向けて会場の手配に当たっております。このイベントはクラブ行事です。次回の第 11 回合同パーティーもクラブを挙げて多くのクラブ員に参加して頂きたいと願っております。



6-4. 第十回台湾國際方塊舞大會に参加して

30期生 小堀 博志

2024年5月17日(金)～19日(日)に台湾の台北市で2年に1回開催される「第10回台湾國際スクエアダンスコンベンション」に参加してきました。日本からは多摩 SDC 杉山量良氏と越谷 SDC 佐久間寛明氏が中心になり企画した「風ツアー」には北海道から九州の SD 愛好者が羽田から松山空港と名古屋・大阪・福岡空港から桃園空港で台北入りした参加者 62 名と東京板橋 SDC 参加 8 名の計 70 名、他の外国(スウェーデン 9 名、ドイツ 2 名、フィリピン 3 名、セルビア 2 名)の参加者 16 名を加え、招待ゲスト 8 名の 94 名及び台湾参加者 124 名で総数 218 名が一堂に会してスクエアダンスを楽しみました。



私は今回が海外初デビューだったので、少し不安もありましたが、セットを組んだ人々はスクエアダンス好きの方々なので喜んで仲間に向かい入れて頂きました。コールも Mr. Mikr Sikorsky のコールは格別で、知らないうちにコールに乗せられて楽しく踊っていました。日本からは我クラブの畠山貴美子さん、黒沢雅之さんがコーラーとして佐久間寛明さんはキューアーとして登壇し、他には日野 SDC の奥村稔明さんや千葉の Crossroads Squares 原口孝一さんのトランペットを使ったコールなど多才な 11 名の方がコーラーとして登壇していました。会場は圓山飯店の近くにある劍潭海外青年活動中心で日本の国立オリンピック記念青少年総合センターのような所でした。1 階から 2 階の会場では Basic から Challenge までのダンスが行われていました。あっと云う間の三日間でした。

20 日(月)は台北市内観光、21 日(火)は台北郊外観光に出掛けました。特に北部にあるテレサテンの墓を訪れた時は雨に降られましたが、何故か心が癒されました。22 日(水)には皆さん無事に帰国しました。今回のコンベンションに参加して、私の最大の思い出はスクエアダンス界における沢山の先輩諸兄とお知り合いになれたことでした。その後の国内のパーティーに参加するたびに声を掛けて頂き、スクエアダンスの楽しみ方が広がった気がします。



6. 第9回連載コラム（第3話）

クラブの繁栄と存続の秘訣

相談役 辻田満

第9回連載コラムは「クラブの繁栄と存続の秘訣」です。第3話は7. クラブ運営の基本原則、8. 情報の共有、9. 会報発行の意義 です。

7. クラブの運営の基本原則

クラブ運営に当たっては基本原則を知らなくてはなりません。これを知らなければクラブは作ることが出来てもこれを存続させて行くことは難しいでしょう。クラブの運営の基本原則は以下の①～⑥です。

①ひとり(少数)ですべてをしないこと

クラブ運営に関わるスタッフになり手がいないのはなぜか？ それは、クラブや組織の運営をすべてひとり(少数)でやってしまっているからです。これではなり手が出ないのは当然です。中心人物だけが走りまわらずに、役割をみんなで分担して実行するようにクセづけましょう。他にやらせた時に意に沿わぬ事があっても60点で満足することが大切です。

②いつまでもクラブ運営に関わらないこと

特に、オーナー的リーダーはクラブの成熟期にはいなくてもよいようにすることが大切です。つまり、しょせんリーダーとは消えていく運命にあること知らなくてはなりません。

③後継者をつくること

現在のリーダーはこれと思う人がいたらリーダーの教育をすることです。機会ある毎にリーダーの仕事を代行させ本人に体験させ自信をつけさせましょう。単に代行させるだけでなく正式に分担させ、回りに次期リーダーとして認めさせることが大切です。新しいリーダーが誕生したら「小姑意識」をもたないこと。

④一人一役の運営をすること

メンバー全員に何らかの役割を付け集団運営を工夫することです。また、各係りを一部のメンバーの担当にしないことです。代表者、会

長も1つの係りとわりきっても良いのです。「代表係り」と呼んだ言葉の響きは大きく異なるものであることに気が付きます。

⑤私塾化しないこと

クラブはクラブを構成する会員が主人公なのです。リーダーはその人達の手で選ばれたマネージャーなのです。いふなればリーダーは会員の意を汲んで組織をマネジメントするだけの役割なのです

⑥新人を受け入れること

古い会員が新しい会員を指導するようなプログラムを作ることです。新人には、その人ができる仕事を分担させ、自然にクラブに慣れさせることです。新人は確かにダンスの経験は少ないですが社会人として様々なキャリアとスキルを持っています。

⑦しっかりキマリを作り、守ること

もし規約がなければボスが発生しても防止のしようがありません。会計がはっきりしなくても明朗化する手がかりがありません。

以上、だれがクラブ運営に関わってもクラブ運営がうまく行く様にクラブ運営の仕組みをきちんと仕込む事が最大の任務なのであり、単に日々のクラブ運営に奔走するものではないのです。

8. 情報の共有

クラブ運営で重視すべきは「情報の共有化」です。クラブ運営に際しては会員同士の情報の共有は極めて重要な役割を果たします。情報の共有ツールとしては「会報」、「クラブニュース」、「例会案内」、「議事録」、「例会ミーティング」、「記念誌」等があります。確かにこれらを作成するには大変な苦勞が伴います。その為にはそれぞれのツールが持つ意義をしっかりとクラブ員に周知理解する事が必要です。さて、会員に新しい情報を出来るだけ速く伝える場として重要なのは例会のミーティングです。ミーティングの場を単にパーティー案内の場だけでは

なく、役員会で決定事項の伝達や、県連の報告、支部活動の動向などをいつも折りにふれ会員に話しておくことが大切です。このような繰り返し組織の一員であることの認識や県連や支部活動は自分達の活動の1つである認識が徐々に培われてくるものです。

一部の役員や幹部だけで総てを背負い込んでしまいでちっとも会員の協力が得られないなどと言っている人がいませんか。常に情報が伝えられていなければ会員も協力のしようがありません。限られた一部の人達で物事を決めるのではなくクラブ員が合意した形で物事を決めて行くことが大切です。また、役員会での決められた経緯がわかるように役員会の議事録はかならず作成し、会員全員に配布すると共にミーティングの場で要点を報告しましょう。

意思疎通です。クラブにおけるもめごとの多くはこの意思疎通の不足に起因しています。すなわち、意思疎通はクラブの大きな資産でもあります。毎例会でのミーティング、役員会での

話し合いは勿論スナックタイムも単にお茶の時間ではありません。会員同士がお互いに意思疎通を図ることが出来る貴重な時間でもあります。行事のあとの2次会や踊りを離れての合宿やイベント後の懇親会なども意思疎通の絶好の機会でもあります。そして、会報発行もまた会員同士の意思疎通を図る大切な媒体であります。

会報発行の意義としては次の①～③が挙げられます。

- ①会員同士の意思疎通と相互理解
- ②情報交換の場
- ③自分及びクラブとしての記録

確かに会報発行には原稿集めや、編集などと大変な労力が必要です。しかし、その労力を費やしてでも発行する意義は大きいと思います。

(次号に続く)

5. 編集後記

今年度の総会で越谷スクエアダンスクラブの体制が一新しましたので、新任の役員の方や新人の紹介にスポットを当てた編集に心掛けました。

次号では、広く会員の方から各パーティー参加報告や自由投稿などの記事を寄稿して頂き、一層充実した編集の会報にしたいと思います。



広報部一同

